# 学生にだって労働者の権利！ ブラックバイト なくそう

## 山大キャンパスで アルバイト学生と懇談会

山形県労連と山大職組などは十月八日、山大工学部キャンパス内で「アルバイトについての懇談会」を開催し、学生数人を招いてアルバイトの実態を聞き取り、懇談しました。全労連の最重点計画のひとつに認定された「山形大学総がかり作戦」の一環として実施されたもの。冒頭、勝見忍・県労連議長と仁科辰夫・山大職組副委員長があいさつしました。つづいて参加した学生から次々に、アルバイト中の問題や疑問が紹介されました。

懇談する学生と山大職組や県労連の関係者

「『辞めちまえ！』と上司によく言われるが、パワハラにあたるのか許される叱咤激励なのかわからない」という学生の疑問に、主催者側は「優位な立場の上司が業務上必要のない『辞めちまえ』という言葉をぶつけて苦しめているのだからパワハラにあたる」などと回答。介護事業所で夜勤明けの日が「休日」にカウントされていること、就労場所への移動は拘束されているのに賃金が出ないこと、時給が八〇〇円と低すぎることなど、参加した学生から次々に日々の疑問や不満が語られました。

学費や生活費を稼ぐため多くの学生が常時アルバイトをしています。深刻な人手不足から、アルバイト学生の存在なしには営業を継続できない企業もあると言われ、それだけに「辞めさせてもらえない」「学業に影響してもバイトを休めない」といった実態も指摘されています。

この会では県労連から、「社会に出る前の学生時代に労働者の権利を伝えることが最大の目的。もし個別に相談事案があれば対応したい」と、学生ユニオンや学内で実施する公開学習会の構想も紹介。クイズなどを織り交ぜた参加型のものにし、日程調整に入ることを申し合わせました。

### 有期・非正規「ラウンジ」も再開

昼休み、無期転換や賃金・格差解消など有期・非正規教職員の問題を話し合う「ラウンジ」が十月二十八日から再開されます。要求前進と組合員拡大の契機として期待されています。

やまがた県労連

発行責任者
勝見 忍
山形市薬師町2-6-15
TEL 023(615)2172
FAX 023(615)2173
URL:http://www.yamagataroren.com/
Email:yamagataroren@yahoo.co.jp

## 最低賃金 めざせ1500円実現しよう全国一律
## 改定日に合わせ街頭行動

### 一〇月一日から七九〇円

県労連は、山形県をはじめ多くの地方の最低賃金が改定される一〇月一日、山形県最賃は二七円上がり七九〇円となることを知らせるとともに、時給一五〇〇円をめざし全国一律制度の実現を求める街頭署名行動を行いました。これは、全国いっせい行動に呼応して取り組まれたものです。山形労働局がある山交ビル前で、加盟組織などから十二名が参加し、署名や「最賃が全国一律一五〇〇円になったら」アンケートを呼びかけました。

足をとめ署名に応じる人たち

ハンドマイクで、七九〇円に改定されたが東京など大都市との格差は広がり、「フルタイムでも月額約十一万円程度でワーキングプア状態だ」と述べ、一五〇〇円に引き上げ全国一律にすることを訴えました。

五〇代の女性は「全国どこでも生活にかかる費用はそんなに変わらない。若い人がたくさん給料をもらえるようにしてほしい」と署名してくれました。

# 消費税10%とんでもない！
# 10月1日増税強行に怒りの抗議
# 5%減税求め、新たなたたかいへ

## 山形市でキャンドルパレード
## 鶴岡市でスタンディング

安倍政権は一〇月一日、国民多数の反対の声を無視して、消費税一〇%増税を強行しました。一日には山形市と鶴岡市で、増税強行に抗議し五%減税を求める行動が繰り広げられました。

鶴岡市では一日昼、市役所前で増税強行に抗議するスタンディングが行われました。消費税廃止鶴岡田川地区各界連絡会が主催し、約四〇人が参加しました。

鶴岡民商の菅原健一会長などがマイクを握り、怒りのスピーチをリレーしました。参加者は「増税より景気対策を」などと書かれたオリジナルプラカードを掲げてアピールしました。

山形市では一日夜、「一〇月消費税一〇%ストップ！やまがたネットワーク」が呼びかけ、「消費税一〇%許さない　今すぐ戻せ！キャンドルパレード」を行い、約五〇人が参加しました。

山形市で行われたキャンドルパレード

山形市役所前での出発集会では、山形民商の佐藤弘会長が「業者は一〇%増税で大変な負担となり、頭にきている。この怒りを行動で示そう」とあいさつしました。舟山康江参議院議員から連帯のメッセージが寄せられました。

参加者はそれぞれキャンドルを手に持ち繁華街を行進。中には「学費を払っていけるか心配・受験生」「軽減税率複雑すぎてヤバイ・学生アルバイト」と書いたプラスターも見られました。

今後、消費税を五%に戻すためのあらたなたたかいがスタートします。

## 台風15号、九州北部豪雨災害で救援募金

県労連などでつくる「震災・原発事故避難者のためのなんでも相談会」実行委員会は九月一八日、ＪＲ山形駅の東西自由通路で、九月九日に発生した台風一五号と八月二八日に起こった九州北部豪雨災害の被災者を救援するための街頭募金活動に取り組みました。

他人事とは思えないと多くの人が募金

県労連の他、山商連、農民連、民青の諸団体から十名が参加し、千葉県などを直撃した台風一五号によって、被災後何週間たっても停電が復旧せず、多くの被災者が困難に見舞われていることなど被災地の様子を伝えながら、「みなさんのお気持ちを募金に託して下さい」などと呼びかけました。

募金は約二万円が寄せられ、全労連と農民連を通じて被災地に届けられます。